

イベントにおける感染防止対策

(2) イベント主催者及びイベントを開催する施設管理者の皆様へ

抜粋

①イベント開催の目安

(ア) 人数上限	(イ) 収容率	
<p>○収容定員10,000人超 ⇒収容定員の50%</p> <p>○収容定員10,000人以下 ⇒5,000人</p>	<p>大声での歓声・声援等がないことを前提としたイベント クラシック音楽コンサート、演劇、展示会等 100%以内</p> <p>収容定員がない場合は最低限人と人が接触しない程度の間隔を空ける</p>	<p>大声での歓声・声援等が想定されるイベント ロック、ポップコンサート、スポーツイベント等 50%以内</p> <p>収容定員がない場合は十分な間隔(1m以上)を空ける</p>

開催規模について、(ア) (イ) の人数のいずれか小さい方を限度とします。

(ア) 人数上限の目安

○イベント主催者及び施設管理者の双方が「別紙1『リスクを軽減するための措置』」や「別紙2『感染防止のチェックリスト』」における取組が記載された業種ごとの感染拡大予防ガイドラインに則った対策を行い、かつ、その取組が公表されている場合は、

- ・収容定員が10,000人を超えるものについては、収容定員の50%
- ・収容定員が10,000人以下のものについては、5,000人

を参加人数の上限とします。

業種ごとの感染拡大予防ガイドラインが無い場合は、別紙1、別紙2の取組を記載したガイドラインを作成、公表し、対策を行う場合に、上記参加人数を上限としてください。

(イ) 収容率の目安

○大声での歓声、声援や歌唱等がないことを前提したイベント

別紙1、別紙2の取組が徹底されていることを前提として

- ・収容定員の100%を上限とします。
- ・固定席が無い場合など、収容定員が設定されていない場合は、「密」となる状況が発生しないよう(最低限人と人が接触しない)間隔を空けてください。

○大声での歓声、声援や歌唱等が想定されるイベント

別紙1、2に留意し、感染防止対策が徹底されていることを前提として

- ・収容定員の50%を上限とします。
- ・固定席がある場合は座席を前後左右の1席は空けることとしますが、グループで参加している場合は、少なくともグループごと(5名以内)で前後左右の1席は空けてください。結果として50%を超えることもあります。
- ・固定席が無い場合など、収容定員が設定されていない場合は、十分な間隔(1m以上)を空けることとしてください。

※大声での歓声、声援の有無については、これまでの開催実績における実態や類似のイベントにおける大声での歓声、声援等の有無により判断してください。

具体的なイベント例については「別紙3『各種イベント例』」をご確認ください。

※入退場時や区域内での感染防止にかかる適切な行動の確保ができないイベントは、「②祭り、花火大会、野外フェスティバル等の開催等」により取り扱ってください。

※(ア)(イ)について、それぞれの条件が満たされていない場合は、これまでと同様、参加人数5,000人以下かつ、屋内では収容率50%以内、屋外では人と人との距離を十分確保できる間隔(できれば2m)をとれる人数を上限とします。

②祭り、花火大会、野外フェスティバル等の開催

○地域で行われる盆踊り等、人の移動が見込まれない行事であって参加者がおおよそ把握できるものについては、(2)①にかかわらず、適切な感染防止対策(発熱等の症状がある者の参加自粛、「三つの『密』」の回避、行事の前後の「三つの『密』」の生ずる交流の自粛等)を講じたうえで開催していただくようお願いします。

○全国的に参加が見込まれる行事や、参加者や見物人の移動を伴う行事など、参加者の把握が困難なものについては、中止をご検討ください。

③イベントの開催にかかる留意点

○イベント参加者に対し、マスクの着用、こまめな手洗い、手指消毒など『新しい生活様式』に基づく行動を促すほか、入場時等に検温を実施し、発熱等の症状がある方は参加を控えていただくようにしてください。

○入退場時、休憩時間や待合場所を含め「三つの『密』」の環境とならないよう、混雑時の誘導などにより、参加者が人と触れ合わない距離を確保してください。

○イベントの前後や休憩時間の交流も控えるよう呼びかけてください。

○演者が発声する場合は、舞台から観客までの距離を2m以上確保してください。

○感染が発生することを避けるため、換気を強化してください。

○参加者名簿の作成等により、連絡先の把握に努めてください。

○「安心みえるLINE」にご登録いただき、QRコードを会場等に掲示するとともに、イベント参加者に対し利用を呼びかけてください。併せて「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)」の活用も呼びかけていただくようお願いいたします。

○イベント開催にあたり感染防止対策などでご相談がある場合には、三重県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局に御連絡ください。

●三重県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局 9:00~17:00 ※月~金(祝日を除く)

電話:059-224-2352 メール:yakumus@pref.mie.lg.jp

別紙 1 リスクを軽減するための措置

措置	具体的な取組例
消毒の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内のこまめな消毒 ・消毒液の設置
マスク着用の徹底 (着用率100%)	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者がマスクを持参していない場合は、主催者がマスクを配布
発熱などの症状がある参加者・出演者の入場・出演の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・検温の実施 ・症状がある方への払い戻し措置の規定
参加者の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡先の把握 ・「安心みえるLINE」QRコードの掲示、参加者による活用の促進 ・接触確認アプリ(COCoA)のダウンロード促進
大声の抑止	<ul style="list-style-type: none"> ・大声を出す参加者がいた場合、個別に注意・対応できるように人員を配置するなど体制を整備 ・スポーツイベント等においては、ラッパなどの鳴り物を禁止
密集の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・誘導する人員の配置、導線の確保など入退場、休憩時間の密集を回避する措置 ・十分な換気 ・休憩時間中、イベント前後の食事等での感染防止
出演者・観客間の接触・飛沫感染リスクの排除	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者、選手等と観客が接触しないよう確実に措置 ・接触が防止できないおそれのあるイベントの開催を見合わせる
イベント前後の行動管理	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関、飲食店等の分散利用について注意喚起 ・予約システム等の活用により分散利用を促進

別紙2 感染防止のチェックリスト

1 徹底した感染防止等（収容率 100%で開催するための前提）		
①	マスク着用の担保	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用状況が確認でき、個別に注意等ができる ＊マスクを持参していない者がいた場合は主催者側で配布
②	大声を出さないことの担保	<ul style="list-style-type: none"> ・大声を出す参加者がいた場合、個別に注意等ができる ＊隣席の者との日常会話程度は可（マスクの着用が前提） ＊演者が発声する場合、舞台から観客まで一定の距離を確保（最低2m）
2 基本的な感染防止等		
③	①～②の奨励	<ul style="list-style-type: none"> ・①～②は、イベントの性質に応じて可能な限り実行（ガイドラインで定める）
④	手洗	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめな手洗の奨励
⑤	消毒	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者側による施設内のこまめな消毒、消毒液の設置、手指消毒
⑥	換気	<ul style="list-style-type: none"> ・法令を遵守した空調設備の設置、こまめな換気
⑦	密集の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・入退場時の密集回避（時間差入退場等）、待合場所等の密集回避
⑧	飲食の制限	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限 ・休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止の徹底
⑨	参加者の制限	<ul style="list-style-type: none"> ・入場時の検温、入場を断った際の払い戻し措置
⑩	参加者の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り事前予約制、あるいは入場時に連絡先の把握 ・「安心みえるLINE」や接触確認アプリ（COCOA）の利用奨励
⑪	イベント前後の行動管理	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント前後の感染防止の注意喚起
3 イベント開催の共通の前提		
⑫	入退場やエリア内の行動管理	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的なこと等により、入退場や区域内の行動管理ができないものは開催を慎重に検討
⑬	地域の感染状況に応じた対応	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模イベントは、必要に応じ事前に都道府県と相談 ・地域の感染状況の変化があった場合は柔軟に対応

別紙3 各種イベント例

大声での歓声・声援等がないことを前提としたイベントの例

音楽	クラシック音楽(交響曲、管弦楽曲、協奏曲、室内楽曲、器楽曲、声楽曲 等)、歌劇、楽劇、合唱、ジャズ、吹奏楽、民族音楽、歌謡曲等のコンサート
演劇等	現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、読み聞かせ、手話パフォーマンス 等
舞踊	バレエ、現代舞踊、民族舞踊 等
伝統芸能	雅楽、能楽、文楽・人形浄瑠璃、歌舞伎、組踊、邦舞 等
芸能・演芸	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、奇術 等
公演・式典	各種講演会、説明会、ワークショップ、各種教室、タウンミーティング、入学式・卒業式、成人式、入社式 等
展示会	各種展示会、商談会、各種ショー

大声での歓声・声援等が想定されるイベントの例

音楽	ロックコンサート、ポップコンサート 等
スポーツイベント	サッカー、野球、大相撲 等
公営競技	競輪、競艇（競馬、オートレース）
公演	キャラクターショー、親子会公演 等
ライブハウス・ナイトクラブ	ライブハウス・ナイトクラブにおける各種イベント

※上記は例示であり、どちらに該当するかは、実際のイベントの内容や状況による判断となります。

※イベント中に食事を伴うものについては、「大声での歓声・声援等が想定されるもの」とします。